

平成28年度事業報告

I 施設の概要

1 施設概要

施設種別	医療型障害児入所施設
敷地面積	2,863.42 m ²
延床面積	3,021.45 m ²

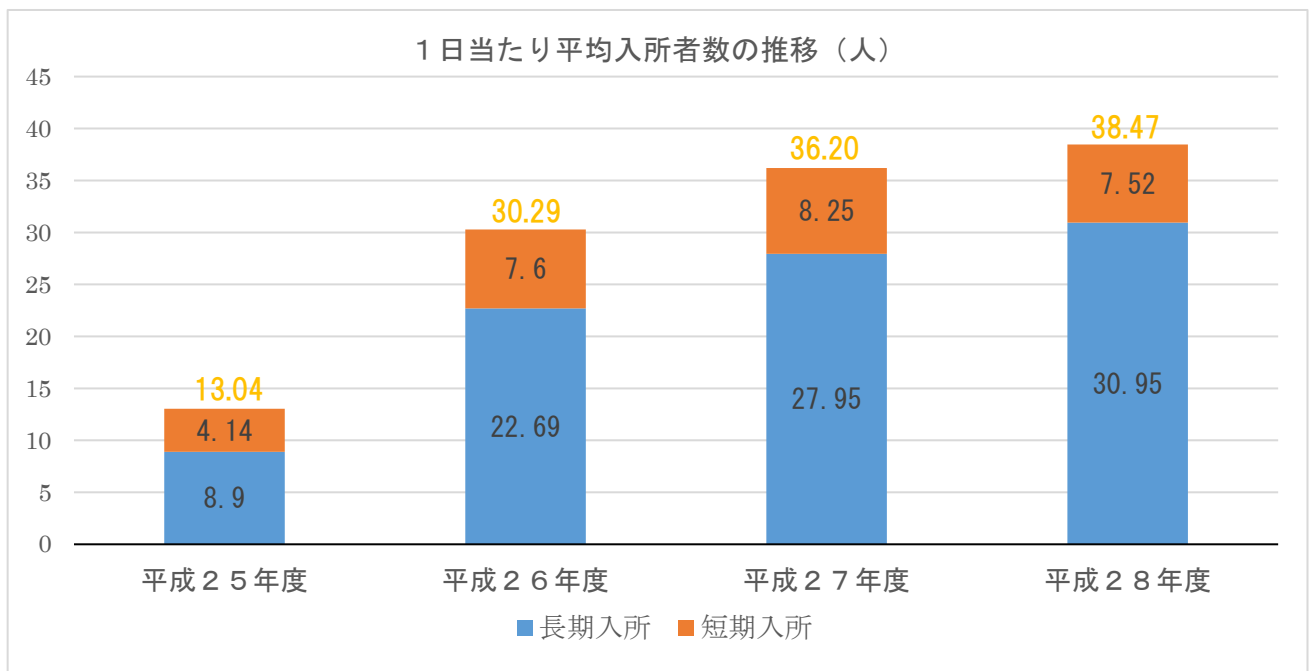
2 事業内容

医療型障害児入所（医療法及び児童福祉法）	定員41人
医療型短期入所（障害者総合支援法）	定員3人+空床利用
医療型特定短期入所（障害者総合支援法）	「おひさまルーム」として運営
外来診療及び外来訓練（医療法）	

II 事業の実施概況

1 入所者数の推移

- 平成28年度の1日当たり平均入所者数は、長期入所30.95人、短期入所7.52人の合計38.47人となった。ベッド数44床に対する稼働率は87.43%であった。
- 平成25年度の施設オープン以来、平均入所者数は毎年度順調に増大しており、経営基盤の安定化が図られてきている。



2 長期入所

(1) 長期入所者の状況

- 平成29年3月31日現在の長期入所者数は32人(男性18人、女性14人)で、入所形態は、措置入所4人、契約入所28人である。
- 居住地別では埼玉県居住者が19市町26人、東京都居住者が5区市6人である。また、埼玉県居住者の地域別では西部地域11人(川越市、所沢市各3人など)、北部地域5人(行田市2人など)、南部地域4人(川口市2人など)、さいたま市2人などとなっている。
- 当施設の大きな特色として、医療重症度の高い児童をより多く受け入れており、人工呼吸器装着者22人、胃・腸ろう造設者20人、経鼻栄養実施者11人となっている。
- また3歳未満児についても積極的な受入れを行っており、32人の入所者中4人となっている。

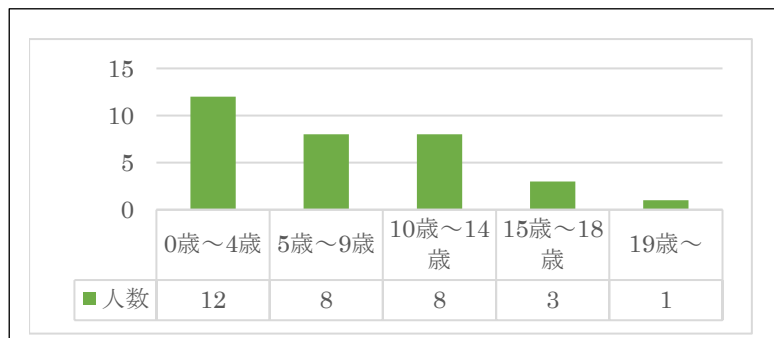
入所者の状況

平成29年3月31日現在

【入所者数】

合 計	32人	男	18人	女	14人
-----	-----	---	-----	---	-----

【年齢別】



【入所形態別】

措置入所	4人	契約入所	28人
------	----	------	-----

【居住地別】

埼玉県	26人	19市町	西部11(川越市3、所沢市3、飯能市1、入間市1、坂戸市1、東松山市1、川島町1)、南部4(川口市2、和光市1、朝霞市1)、さいたま市2、県央2(上尾市1、鴻巣市1)、北部5(行田市2、熊谷市1、深谷市1、本庄市1)、東部2(春日部市1、久喜市1)
東京都	6人	5区市	板橋区2、世田谷区、港区、足立区、東村山市

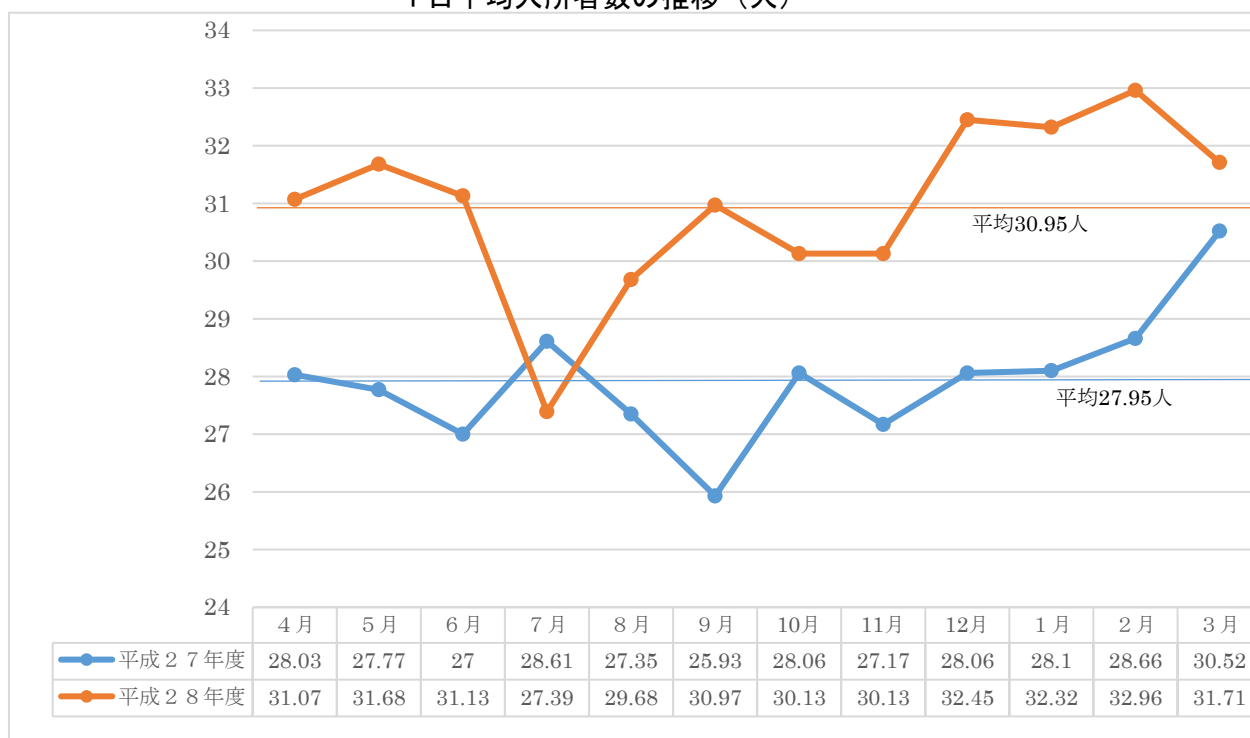
【呼吸・栄養の状況】

人工呼吸器	22人	胃・腸ろう	20人	経鼻	11人
-------	-----	-------	-----	----	-----

(2) 1日平均入所者数の推移

- 平成28年度の1日当たり平均入所者数は30.95人で、平成27年度の27.95人に比べて3人の増加となった。
- 長期入所について、短期入所とのバランス上すでに受入れ上限に近い水準にあり、受入れに当たっては、入所希望児の症状、療養環境、緊急性などを総合的に勘案して行った。平成28年度中に新たに受入れた児童は8人、退所した児童も8人であった。
- 重症度の高い児童を受け入れていることから、病状悪化による管理病院への転院による一時的な入所減が発生することなどにより、毎月の入所者数は必ずしも安定しない状況にある。

1日平均入所者数の推移（人）



(3) 入所者の療養生活

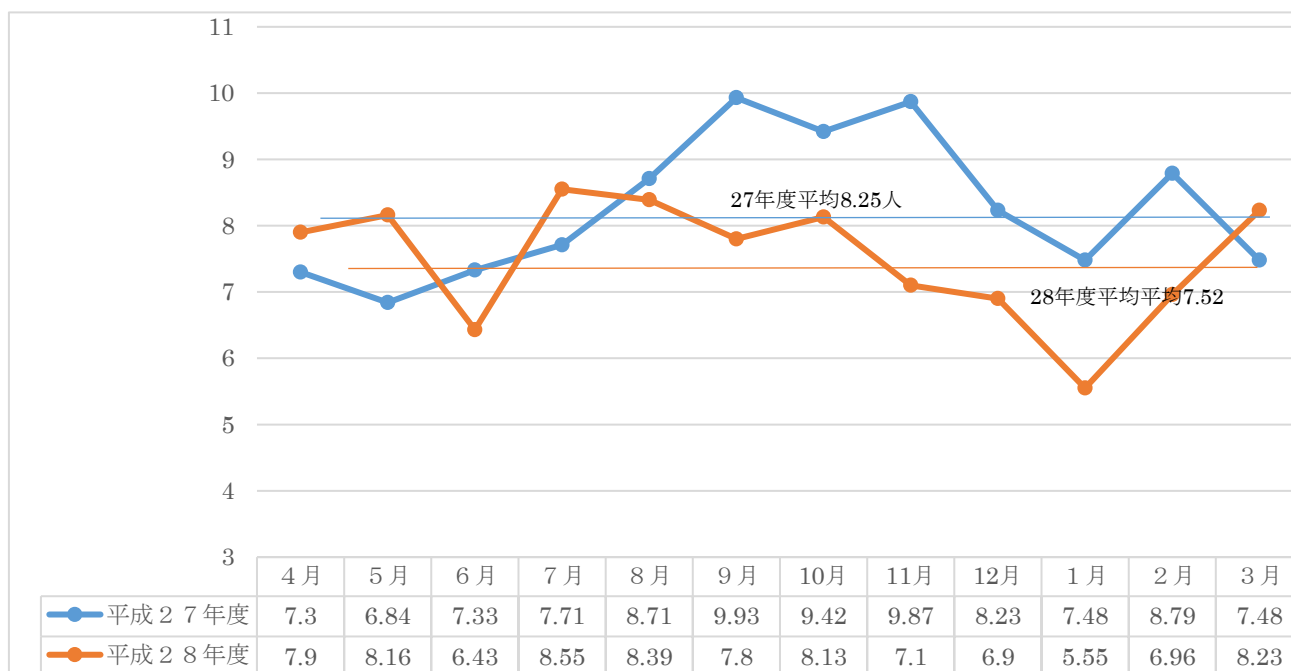
- 日常生活支援の中で、子ども一人ひとりの個性を尊重し、その子にあった成長・発達ができるよう看護・療育活動を行いました。
- 子どもたちの「学ぶ権利」「参加する権利」を尊重し、学校活動の支援や指揮の行事・活動を看護と療育が協働して行いました。
- 主な行事・活動
カルガモ祭り（9月）、ハロウィン（10月）、クリスマス会（12月）、誕生日会（毎月）
支援学校との連携による入学式・卒業式、運動会・文化祭など

2 短期入所

(1) 1日平均短期入所者数の推移等

- 1か月当たり平均入所者数は7.52人で、平成27年度に比し0.73人減少した。これは、長期入所者が増えたことや短期入所の予約キャンセルなどにより、前年度を下回るようになった。
- 平成28年度は予約を延べ3,382日受け付けたが、利用児の病状悪化やインフルエンザの感染などを理由にキャンセルが発生し、実際の利用は延べ2,743日、利用率は81.1%であった。多くの需要に応え、社会資源としてのベッドの有効活用や安定的な経営を確保する観点から、キャンセルに対する対応は大きな課題である。
- 短期入所は在宅支援の大きな柱として、受入児の安全を確保しながら積極的かつ重点的に取り組んでいるが、より多くの方が公平に利用できるよう、スマートフォンを活用した予約受付システムを構築するなど、予約方法の改善を図った。

1日当たり平均短期入所者数の推移（人）



(2) 短期利用者の状況（特定短期利用者を含む）

- ・ 特定短期を含めた短期利用者は、利用実人員 114 人、利用延べ日数 3,370 日で、うち判定基準のスコア 25 点以上の超重症児の利用実人員は 32 人、利用延べ日数は 1,041 日であった。
- ・ 居住地別では、県内 34 市町から利用があり、市町別の利用延べ日数及び利用実人員は、さいたま市 807 日 17 人、上尾市 477 日 12 人、川越市 472 日 18 人などとなっている。

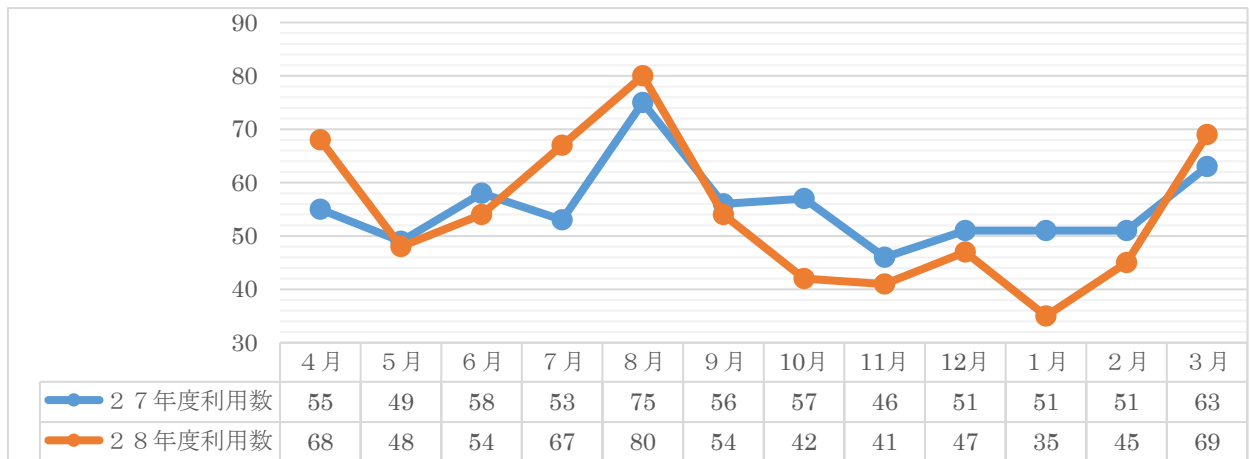
平成 28 年度 短期利用者（特定短期含む）の状況

地区	番号	市町村名	利用実人員	利用延べ日数	うちスコア 25 以上の人員	左の利用延べ日数	地区	番号	市町村名	利用実人員	利用延べ日数	うちスコア 25 以上の人員	左の利用延べ日数	
西部	1	川越市	18	472	7	318	東部	19	戸田市	1	8	1	8	
	2	所沢市	3	31	1	3		20	行田市	2	109	—	—	
	3	飯能市	2	11	2	11		21	加須市	4	62	—	—	
	4	東松山市	1	31	—	—		22	羽生市	1	7	—	—	
	5	坂戸市	2	24	—	—		23	久喜市	2	38	1	14	
	6	鶴ヶ島市	2	60	1	21		24	幸手市	3	183	—	—	
	7	日高市	2	42	2	42		25	春日部市	3	78	1	11	
	8	狭山市	1	19	—	—		26	越谷市	1	1	—	—	
	9	毛呂山町	1	16	—	—		北部	27	熊谷市	3	50	—	—
	10	嵐山町	2	4	—	—			28	長瀨町	1	8	—	—
	県南西部	11	吉見町	1	44	—		—	県央	29	鴻巣市	5	128	2
12		朝霞市	2	7	—	—	30	上尾市		12	477	2	126	
13		和光市	1	41	—	—	31	桶川市		2	31	—	—	
14		新座市	1	24	—	—	32	北本市		5	176	—	—	
15		富士見市	2	5	—	—	33	伊奈町		1	37	—	—	
16		ふじみ野市	7	279	3	146	34	さいたま市		17	807	8	253	
17		三芳町	2	37	—	—	合計	34市町		114	3,370	32	1,041	
南部	18	川口市	1	23	1	23	27年度	39市町	124	3,644	39	1,345		

3 特定短期（おひさまルーム）の利用状況

- ・ 1か月当たりの利用者数は54.2人、稼働1日当たりの平均利用者数は2.67人で、平成27年度を若干下回る水準であった。
- ・ 平成28年度は、予約を延べ872人受け付けたが、利用児の病状悪化などの理由から延べ222人のキャンセルがあり、利用率は74.5%であった。

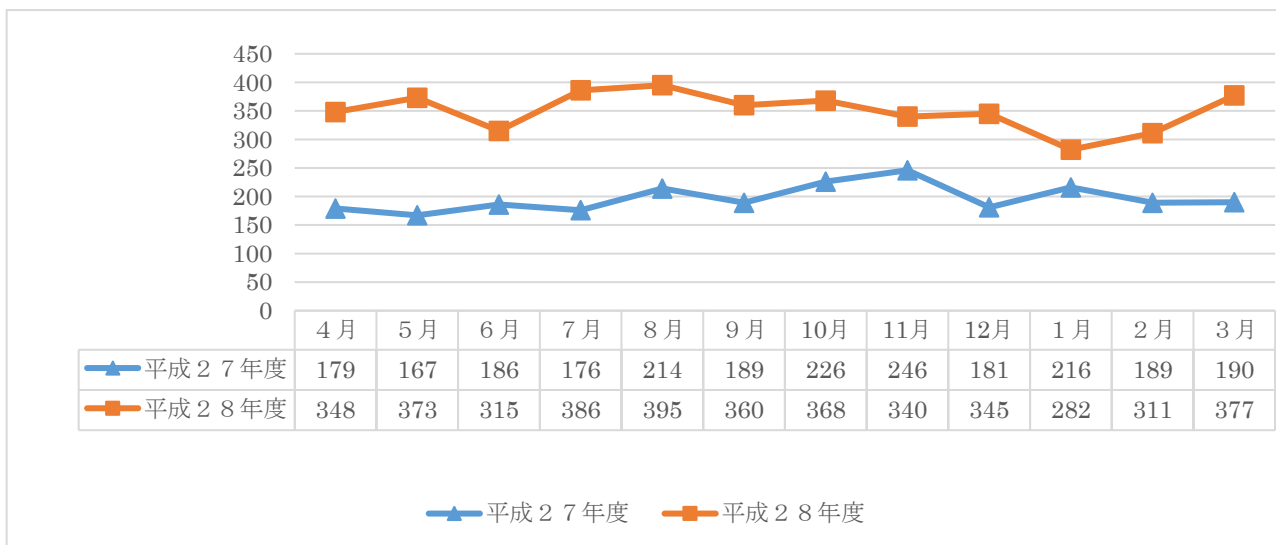
1か月当たり特定短期利用者数の推移（人）



4 外来（リハビリ）患者の状況

- ・ 平成28年度の外来（リハビリ）利用者は、延べ4,200人、1か月当たり平均患者数350.0人で、平成27年度（延べ患者数2,359人）に比べて約78%増加した。
- ・ これは、在宅患者のリハビリニーズの増大に対応するため、理学療法士1名及び作業療法士を2名増員して対応した結果による。

1か月当たり外来（リハビリ）患者数の推移



Ⅲ 法人・施設の運営管理

1 理事会・評議員会等の開催状況

【理事会】

開催日	議 題
28.5.26	<ul style="list-style-type: none">・平成27年度事業報告について・平成27年度収支決算報告について・管理職任期制規程の改定について
28.12.20	<ul style="list-style-type: none">・定款の改定について・入所児の児童手当に係る金銭管理規程の制定について・育児休業規程の改定について・介護休業規程の改定について
29.2.23	<ul style="list-style-type: none">・評議員選定委員会運営規程について・評議員選定委員会委員の選任について・評議員選定委員会の開催について・評議員選任候補者の推薦について
29.3.28	<ul style="list-style-type: none">・平成28年度補正予算について・平成29年度事業計画について・平成29年度予算について・定款施行細則の改正について

【評議員会】

開催日	議 題
28.5.26	<ul style="list-style-type: none">・平成27年度事業報告について・平成27年度収支決算報告について・管理職任期制規程の改定について
28.12.20	<ul style="list-style-type: none">・定款の改定について・入所児の児童手当に係る金銭管理規程の制定について・育児休業規程の改定について・介護休業規程の改定について
29.3.28	<ul style="list-style-type: none">・平成28年度補正予算について・平成29年度事業計画について・平成29年度予算について・理事の選任について・定款施行細則の改正について

【評議員選定委員会】

開催日	議 題
29.3.17	<ul style="list-style-type: none">・評議員の選任について

2 職員の状況

(1) 採用、退職の状況

- 採用…看護師17名、作業療法士2名、療育職員2名、医師1名、理学療法士1名など合計24名の職員を採用した。
- 退職…看護師6名、療育職員6名、看護助手1名など合計14名の職員が退職した。
- 事業の安定的な運営やきめ細かなサービスを提供するため、適宜必要職種の採用に努めてきたところではあるが、保育士などの療育職員の確保が大変厳しい状況にある。

(2) 職員数（平成29年4月1日現在）

部 門	常勤職員数	非常勤等職員数	合 計
医 療	3	1	4
看 護	38	3	41
療 育	14	1	15
児童発達	1	—	1
リハビリ	6	—	6
薬 剤	1	—	1
栄 養	1	—	1
相 談	2	—	2
事 務	4	1	5
その他	—	1	1
合 計	70	7	77

(3) 研修の実施・参画

- 職員の資質向上を図るため、認定資格取得のための講習会への参加や外部の専門研修への参画をはじめ、施設内での研修会・勉強会を積極的に実施した。
認定資格講習参加人数2人、外部専門研修参加人数26人など
- 小児在宅医療支援研究会等の各種研究会や事例発表会などで、日ごろの研究成果を発表するなど職員の自己研鑽の取組みを支援した。

3 実習生の受入れ

- 平成28年度は、次のとおり看護実習生の受け入れを行い、地域の看護人材の育成に貢献した。

学校名	受入れ人数
所沢看護専門学校	実人数39人延べ人数117人
埼玉医科大学保健医療学部看護学科	実人数7人延べ人数28人
埼玉医科大学総合医療センター附属看護専門学校	実人数41人延べ人数41人

4 各種委員会の活動

- ・ 組織横断的な職員が参画した委員会により、業務の企画、調整、情報の共有など、効果的・効率的な事業・業務の推進に努めた。

名 称	目的・内容	開催回数
医療安全対策委員会	医療安全対策の総括、安全管理体制の確保・推進	1 2
感染対策委員会	感染予防対策の推進	1 2
褥瘡対策委員会	褥瘡予防対策の推進	1 2
栄養管理委員会	入所児の栄養管理	1 2
教育委員会	職員研修の企画・立案	1 0
災害対策委員会	施設の防災管理、消防計画に基づく訓練の実施	1 2
記録情報委員会	帳票、電子媒体等の運用基準の検討、広報活動の推進	1 0
行事・レク委員会	施設行事、レクリエーションの企画・立案	1 2
虐待防止委員会	虐待被害の早期発見、家族支援等の検討	1 1
安全衛生委員会	職員の安全と健康を確保、快適な職場環境の創出	1 2
運営会議	施設運営にかかる重要事項の検討、決定	2 3